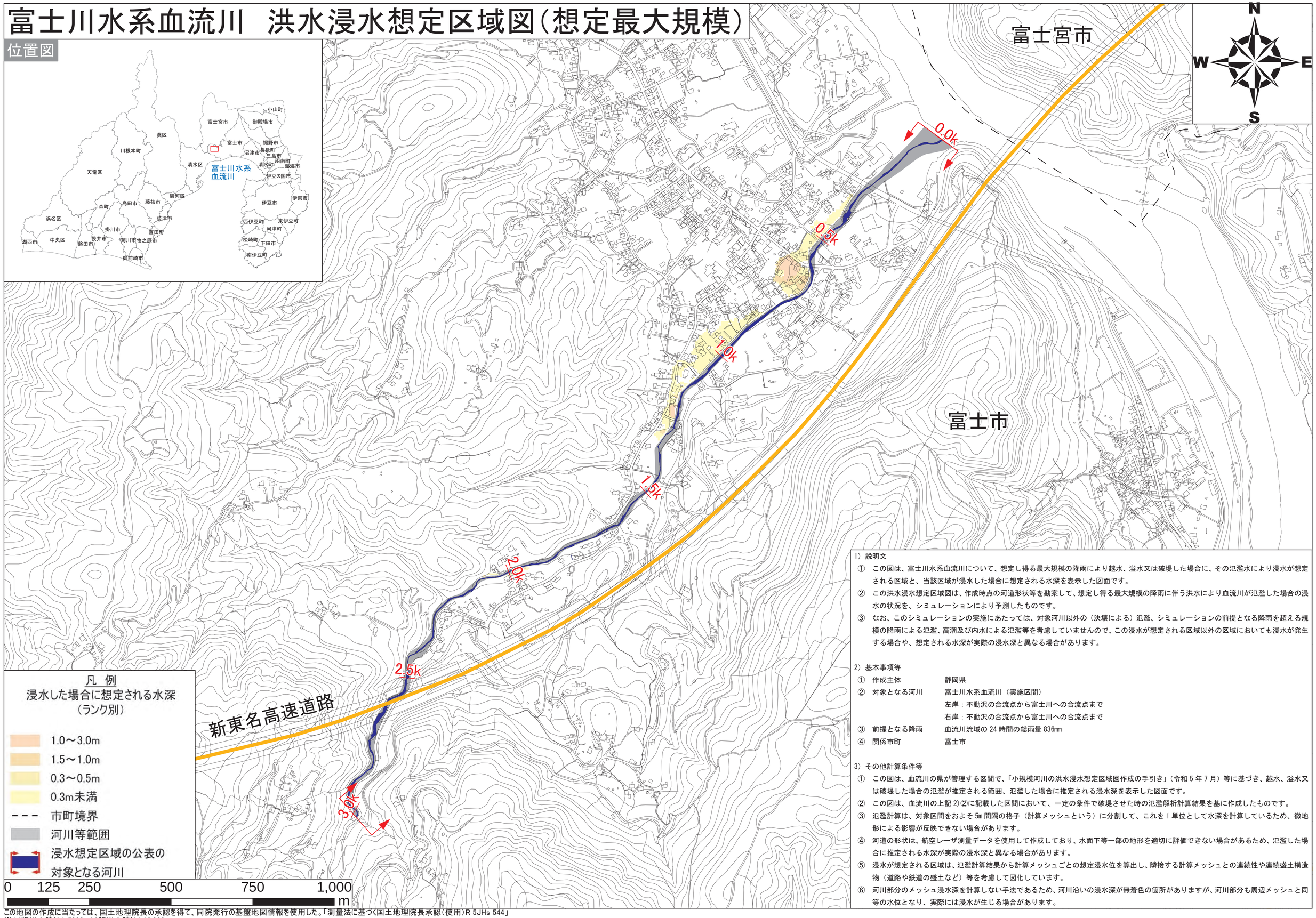
富士川水系血流川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1）説明文

① この図は、富士川水系血流川について、想定し得る最大規模の降雨により越水、溢水又は破堤した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により血流川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①	作成主体	静岡県
②	対象となる河川	富士川水系血流川（実施区間） 左岸：不動沢の合流点から富士川への合流点まで 右岸：不動沢の合流点から富士川への合流点まで
③	前提となる降雨	血流川流域の 24 時間の総雨量 836mm
④	関係市町	富士市

3）その他計算条件等

① この図は、血流川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和 5 年 7 月）等に基づき、越水、溢水又は破堤した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

② この図は、血流川の上記 2)②に記載した区間において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ 5m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

⑤ 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

⑥ 河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、河川部分も周辺メッシュと同等の水位となり、実際には浸水が生じる場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 544」

※A1版出力時は1:,5000、A3版出力時は1:10,000